

水稲用 初・中期一発処理除草剤

# エンペラー<sup>®</sup>

1キロ粒剤 豆つぶ<sup>®</sup>250 ジャンボ フロアブル



ノビエ



ホタルイ



オモダカ



※1キロ粒剤・フロアブルのみ



※ジャンボ剤を除く

## 皇帝の品格

- 有効成分エフィーダ<sup>®</sup>（一般名フェンキノトリオン）を配合
- 3成分で問題雑草をワイドに除草
- スピーディーな除草効果
- 水稲に高い安全性



エフィーダ<sup>®</sup>配合  
問題雑草に広く効く!!

※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

- 有効成分：ピラクロニル………2.0% (1キロ粒剤)、8.0% (豆つぶ・ジャンボ)、3.7% (フロアブル)  
ピリミノバックメチル………0.75% (1キロ粒剤)、3.0% (豆つぶ・ジャンボ)、1.4% (フロアブル)  
フェンキ・トリオン………3.0% (1キロ粒剤)、12.0% (豆つぶ・ジャンボ)、5.6% (フロアブル)
- 人畜毒性：普通物 (毒劇物に該当しないものを指すという通称)



## 特長

- 有効成分“エフィーダ® (一般名:フェンキノトリオン)”を配合した3成分の混合剤です。
  - エフィーダ®によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイやコウキヤガラなどのカヤツリグサ科雑草が白化し、高い効果を示します。また、SU剤抵抗性雑草にも効果を示します。
  - ノビエ3葉期まで使用することができ、また、ピラクロニル配合により速効的に褐変・枯れ症状がみられます。
  - 高い水稲安全性を示し、移植水稲では移植時から使用することができます。また、飼料稲栽培時にも使用することが可能です\*。
- \*既存の4-HPPD阻害剤に感受性が高いとされる、やまだわら、とよめき、タカナリ、モミロマン、ミスホチカラ、ノバタキ、おどろきもち、ふくおこし、えみだわら、もみゆたかに対し、エフィーダは高い安全性を示すことを確認しています。WCSIについては別途、稲発酵粗飼料生産・給与技术マニュアルを確認の上、ご使用願います。
- 豆つぶ250とジャンボは10アール当たり250gと軽量で、優れた拡散性を発揮します。

## 適用雑草及び使用方法

2024年10月現在の登録内容

\*各有効成分を含む農薬の総使用回数:ピラクロニル2回以内、ピリミノバックメチル2回以内、フェンキノトリオン2回以内

### 1キロ粒剤 (農林水産省登録 第24063号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ、ナガエツルノゲイトウ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回*	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布 又は無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ	稲出芽揃期～ ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

### 豆つぶ250 (農林水産省登録 第24073号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	250g	1回*	湛水散布、湛水周縁散布、 水口施用又は無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	稲出芽揃期～ ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は無人航空機 による散布

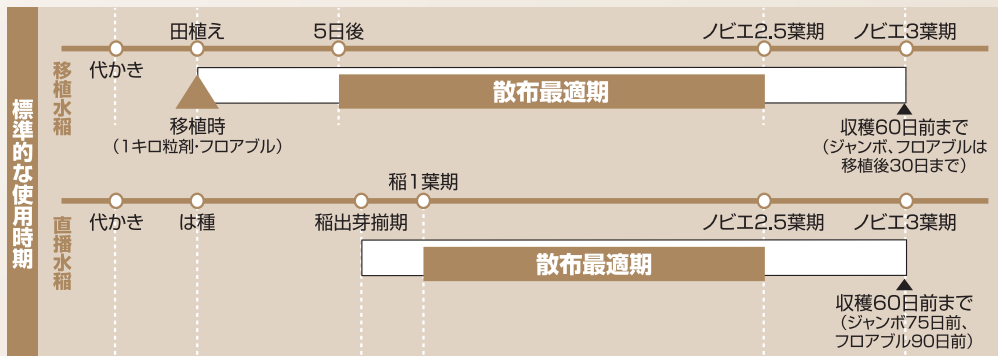
### ジャンボ (農林水産省登録 第24074号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回*	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲出芽揃期～ ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで			

### フロアブル (農林水産省登録 第24154号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、エゾノサヤカグサ ナガエツルノゲイトウ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ	1回*	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布、 水口施用 又は無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲出芽揃期～ ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布 又は無人航空機による滴下

## 上手な使い方



## 使用上の注意 (抜粋)

### 【共通】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失わないように散布(使用)してください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。各雑草の散布適期は以下の通りです。  
エゾノサヤカグサ………2葉期まで(フロアブル)  
ヘラオモダカ………2葉期まで(フロアブル)・3葉期まで(1キロ粒剤)・4葉期まで(豆つぶ250・ジャンボ)  
ホタルイ、ウリカワ………3葉期まで  
ミスガヤツリ………3葉期まで(フロアブル)・5葉期まで(フロアブル除く)  
クログワイ………発生前(1キロ粒剤)・発生始期まで(1キロ粒剤除く)  
オモダカ、コウキヤガラ………発生始期まで  
シズイ………発生始期まで(豆つぶ250・ジャンボ)  
ヒルムシロ………発生期まで  
セリ………再生期まで  
ナガエツルノゲイトウ………再生始期まで(1キロ粒剤・フロアブル)・再生始期まで(豆つぶ250・ジャンボ)  
アオミドロ・藻類による表層はく離………発生前(フロアブル)・発生前まで(豆つぶ250・ジャンボ)・発生盛期まで(1キロ粒剤)

- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ(豆つぶ250・ジャンボ)は発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさしてください。  
○砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)  
○軟弱苗を移植した水田  
○極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。  
○発芽直後の稲に対して葉害を生じるおそれがあるので、稲の出芽が揃わない場合は、稲の不完全葉期以降(1キロ粒剤・フロアブル)・出芽揃期以降(豆つぶ250・ジャンボ)に散布してください。  
○稲の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさしてください。  
○除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさしてください。
- 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

2次元コードより登録内容を必ずご確認ください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年10月現在の知見に基づき作成しています。 2434(24-11)